

# 令和3年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和2年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	市立認定こども園移管事業			事業番号	014-088
担当部署名	子ども青少年	局	子育て支援	部	幼保運営

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れ目のない子育て支援の充実
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②多様で質の高い教育・保育サービスの提供		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
2	関連計画	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.2	
		有	取組	安全安心で質の高い幼児教育・保育の提供、小学校教育との連携			
3	事業開始年度	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
3	事業開始年度	平成 12 年度		点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)						

#### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市立認定こども園 (5か所)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	民間活力の導入により、効率的・効果的な施設運営を行うとともに、多様化する教育・保育需要(受け皿の拡大、延長保育時間の拡大、地域子育て支援の充実など) への迅速・柔軟な対応を行うほか、施設の老朽化解消を図る。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	【福泉中央こども園】 ・重症心身障害児対応の児童発達支援事業所を併設した幼保連携型認定こども園としての民営化を公表し移管先法人を募集・決定 ・民営化等にかかる保護者、近隣等の調整 ・民営化へ向けた施設整備の一環として、一部建物を除去し、跡地に移管先法人による障害児通所支援事業所を建設
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	【その他】 ・民営化敷地 (市有地) の有償化のために、当該土地の不動産鑑定や移管先法人の経営診断を実施
9	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	移管先法人
10	公民連携・協働事業	

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11 移管箇所数 (累計)	箇所	目標値	27	27	27		27
		実績値	22	22			
		達成率	81%	81%			
当該指標を選定した理由		民営化方針にて移管対象園が決定しているため。					
目標値の設定根拠・算出方法		平成16年に25か所、平成27年に美原区2か所の計27か所を移管することを決定・公表。					
12 活動指標(成果を上げるための手段)	回		実績		目標		
			令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		目標値	12	—	—		
		実績値	12	—	—		
達成率		100%	—	—			
当該指標を選定した理由		移管後の教育・保育内容や運営状況を確認・指導する重要な機会であるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		移管後1年間は毎月訪問を実施。					

## 令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	市立認定こども園移管事業	事業番号	014-088
-------	--------------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

(単位：千円)

事業費 (a)	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	6,292	41,316	52,766	10,406	52,186
13 財源内訳	国支出金	3,033			
	府支出金				
	市債	20,900			
	その他 ( )				
	受益者負担金(使用料、手数料等)			17,100	0
一般財源	6,292	17,383	35,666	10,406	52,186
14 人件費 (b)	13,120	12,960	13,120	13,120	13,120
15 年間経費(c)=(a)+(b)	19,412	54,276	65,886	23,526	65,306

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R2	決算				R2	決算		
16	手数料 (枠外)	R2	決算	1,102	1,102	施設整備工事費 (枠外)	R2	決算	287	287
		R3	予算	3,947	3,947		R3	予算	4,868	4,868
	アスベスト含有分析調査業務	R2	決算	457	457	民営化園解体工事 (枠外)	R2	決算	2,167	2,167
		R3	予算	300	300		R3	予算	21,000	21,000
	工事設計委託業務 (枠外)	R2	決算	1,992	1,992	民営化対象こども園用地整備工事 (枠外)	R2	決算	2,543	2,543
		R3	予算	-	-		R3	予算	-	-
	民営化用地売却に係る移管先法人経営診断業務	R2	決算	110	110	元美原きた保育所敷地管理関係 (除草業務、機械警備業務)	R2	決算	1,296	1,296
		R3	予算	440	440		R3	予算	1,447	1,447
	再生資源化物等収集運搬処理業務	R2	決算	297	297	その他 (印刷製本費、消耗品費、通信運搬費等)	R2	決算	155	155
		R3	予算	1,000	1,000		R3	予算	19,184	19,184

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
		①	
②	千円		
③	円/単位		
備考 (算出についての説明等)		民営化に係る手法や移管に要する期間は施設によって大きく異なり、複数施設の手続きを並行して実施しているため単位当たりの経費の算出は困難	

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18	令和2年度は令和4年4月移管予定の福泉中央こども園の民営化に向け、移管先法人の選定、保護者説明、既存施設の解体及び新園舎の建築 (いずれも一部) 等を実施した。工事関係費は、入念に計画を立て、施工内容を精査し、関連工事をまとめる等効率的に発注し、経費を削減した。その他、民営化敷地を売却、有償貸付することにより歳入確保に努めた。
----	--

#### KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	福泉中央こども園の民営化においては、近年増加している医療的ケアが必要な児童の保育需要に対応すべく、当該児童の最低10人の受け入れ、かつ重症心身障害児対応の障害児通所支援事業所を併設した幼保連携型認定こども園として移管することで、医療的ケア児を含めすべての児童が安全・安心して過ごせる環境づくりを推進した。
----	--